

四日市市立保々小学校だより

平成31年2月19日(火)No.43

今を未来に

新1年生 入学説明会を開催しました。

8日(金)新1年生の保護者の方に入学説明会を開催しました。今のところ次年度の新1年生は60名で、2クラスを予定しています。私からは、就学時健康診断の待ち時間に話そうとされていて、強調できなかったこととお話しました。入学するまでに雨の日と雨が降っていない日に学校までの往復の道のりを歩いてくださいということ、給食に対するアレルギーの心配がある方は管理表提出が必須であること、入学時にいる物品選定についての話をしました。私の話のあとは、養護の木津から保健関係の説明があり、1年生担任から入学までの準備や学校生活についての説明がありました。

毎年思うことですが、こうした話や説明をしていると、上級生はここでお伝えした約束を守ることができるかということです。特に、朝の登校班やみんなが気持ちよく生活するためにと考えている学校のきまりが守られているか、新1年生の見本となることができているか、確かめて欲しいと思いました。

また、初めて小学校に通うというお家が新1年生は34軒あります。通学路や集合場所がわからないという方もみえました。近所の上級生に聞いてくださいと伝えましたから、近所の方が聞いてみえるかもしれません。その時は、わかりやすく教えてあげてくださいね。なお、3月11日に地区別の児童集会が行われ、そこで各地区ごとに地区委員さんにお世話になって作っていただいた新登校班を確認する予定です。

人権まちづくり第2弾 6年生堂々と発表する

10日(日)に、保々小学校の代表として、保々地区人権まちづくり講座第2弾において、この1年間の人権総合・生活科の学びの発表に、6年生が参加してくれました。発表の内容は前号の学校だよりでお伝えしたものです。

6年生の発表は、この講座の最後でしたが、発表後地域の方から「小学校は、しっかりと人権の学習を進めてくれていますね。」「中学校の発表もあって、この保々地区の子どもたちが差別をなくしていくことで、つながっているんですね。」「大人が何しているのって言われている気持ちになりました。」などの声をかけてくださいました。子どもたちの気づきは、こうやって地域の方の気持ちを揺さぶるんだなあと、改めて感じました。

3連休の間の日で、何かと計画をしたい日程であったと思いますが、ほとんどの6年生が都合をつけて、発表に参加してくれたことにも感謝の気持ちで一杯です。みなさんの気持ちはしっかりと地域の方に伝わりました。



3年生 社会見学に行ってきました。

14日(木)、3年生は「人々のくらしのうつりかわり」の学習のため、四日市市博物館へ社会見学に行ってきました。見学の様子は、保々小学校ホームページの速報でお伝えしました。

四日市市博物館の展示は、昭和の小学校の教室、ハウロウ看板、昔の道具、昭和20年代と昭和30年代の暮らしの再現のコーナーになっていました。昭和30年代の後半からいっきに家庭生活に今では当たり前になっている電気製品が入り込んだことや、それによって生活様式が様変わりしたことがわかる展示であったと思います。私にとっては、まさに幼少期の生活の再現に当たるので、懐かしいなあと思うことばかりでした。我が家に白黒テレビがきたのは小学1年生で、近所の方にカラーテレビがきたときには土曜日の夜7時に放送されていた「巨人の星」を見に行かせてもらったこと、「お醤油切らせてしまったから貸して。」という近所の方との付き合いがあったことも思い出していました。

博物館を見学して、お弁当を広場で食べた後、1番街商店街を歩いて市役所まで歩いて、そこから諏訪商店街、スワマエ商店街、スワ栄商店街、グリーンモール商店街を見学し、近鉄四日市駅でのバリアフリー施設(新設されたエレベーター、視覚障害者誘導用ブロック、点字付き音声案内など)をみつけて、学校へ戻りました。同じ四日市市ですが、街の方へ行くことがあまりない子どもたちは、初めて見るものに目を輝かせながら、見学を進めることができました。

4年生 2分の1成人式を開きました。

14日(木)の午後、小学校の体育館でおうちの方に参観していただき、4年生の2分の1成人式が開かれました。私は、3年生の社会見学引率のため、参観することができませんでした。

この2分の1成人式は、子どもたち一人ひとりが10歳まで成長してきた今の自分の姿をおうちの方に見ていただくこと、「ふるさと」の合唱や手紙によって、普段なかなか言えない感謝の気持ちを伝えることを目的に行われました。自分たちががんばっていること、できるようになったことを披露する「成長したわたしたち」では、合奏、フリースロー、卓球、なわとび、大縄とび、ダブルダッチ、バレエ、ダンス&ソーランなど、様々な特技が披露されました。おうちの方に良いところを見せられるように、子どもたちは、この日までに一生懸命練習に取り組んできました。式の後には、満足そうな子どもたちの笑顔がたくさん見られました。保護者の皆様は、発表に優しく温かな視線や拍手を送ってください、参加者のみんなが10歳になったことを嬉しく感じられる式になったそうです。

